

LP2000Mon 測定マニュアル

起動方法

デスクトップ画面 (図 1) の赤丸で囲まれた LP2000Mon をダブルクリックします。

起動すると図 2 のように測定画面が表示されます。

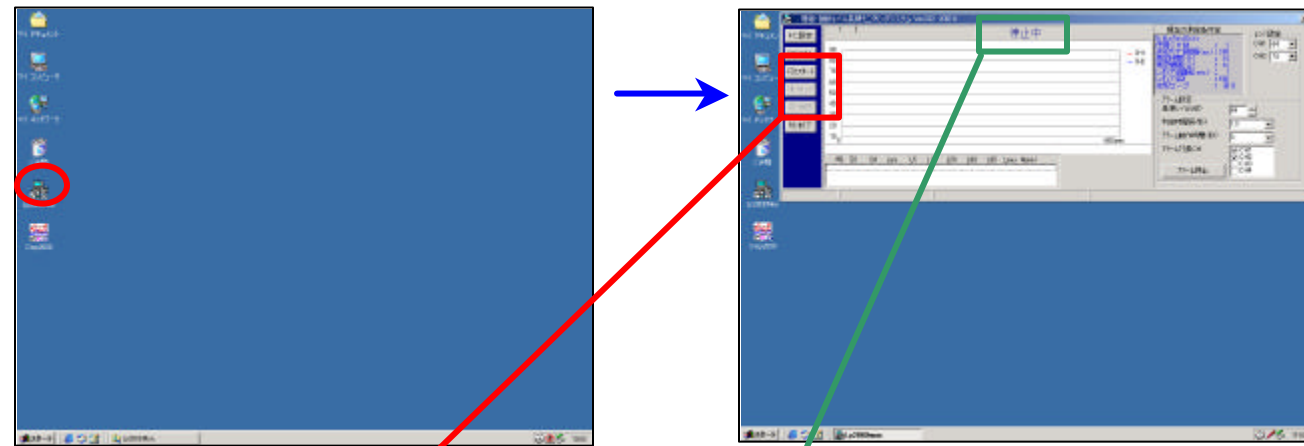


図 1

図 2

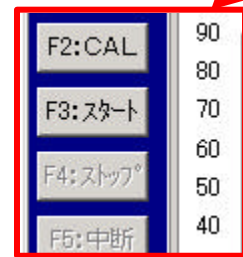


図 3

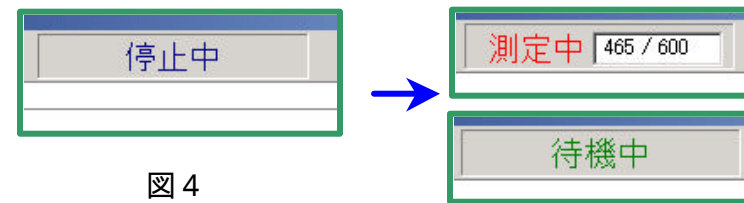


図 4

図 5

測定画面が立ち上がったら図 3 の F3:スタート のボタンをクリックします。
(または、F3キーを押します)

図 4 の "停止中" が、図 5 の "待機中" または "測定中" に変わったら測定の開始です。

測定画面 (図 6)

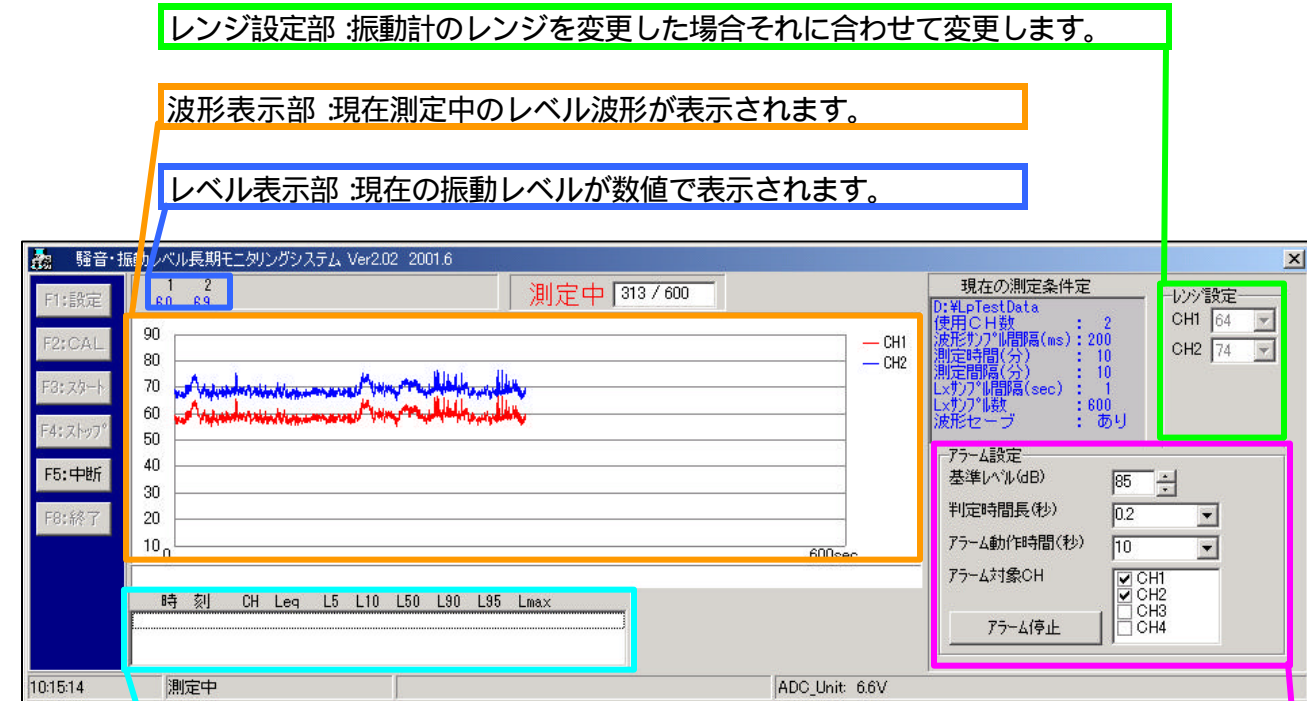


図 6

レンジ設定部 振動計のレンジを変更した場合それに合わせて変更します。

波形表示部 現在測定中のレベル波形が表示されます。

レベル表示部 現在の振動レベルが数値で表示されます。

統計値表示部 : 10分間ごとに統計値が算出され表示されます。
データ数が多くなると右端にスクロールバーが出現し、データを遡って表示することが出来ます。

アラームの設定 : 測定レベルが設定値を超えたときブザーとパライトを動作させる条件を設定します。

アラーム（警告）の設定

アラーム設定
 基準レベル(dB) 85
 判定時間長(秒) 0.2
 アラーム動作時間(秒) 10
 アラーム対象CH
 CH1
 CH2
 CH3
 CH4
 アラーム停止

基準レベル : アラームを動作させるレベルを設定します。
 判定時間 : 基準値を超えるレベルが何秒続いた場合アラームを動作させるかを設定します。
 アラーム動作時間 : 基準値を超えたとき何秒間アラームを継続させるかを設定します。
 アラーム対象CH : どのチャンネルが基準値を超えたときにアラームを動作させるかを設定します。(画面の場合はCH1、CH2が有効です)

図 7

アラーム停止 : アラームの動作を強制的に停止します。アラーム動作時間を '手動停止' に設定しておくこのボタンをクリックするまで止まりません。

設定の数値の変更は、数値の右側の をクリックして行います。

アラーム設定
 基準レベル(dB) 84
 判定時間長(秒) 1.0
 アラーム動作時間(秒) 3
 アラーム対象CH
 CH1
 CH2
 CH3
 CH4
 アラーム停止

アラーム設定
 基準レベル(dB) 85
 判定時間長(秒) 0.2
 アラーム動作時間(秒) 手動停止
 アラーム対象CH
 1
 2
 3
 5
 10
 20
 30
 アラーム停止

図 8

図 9

レンジの変更

F1:設定
 F2:CAL
 F3:スタート
 F4:ストップ
 F5:中断
 F8:終了

まず、画面左端の F5:中断 のボタンをクリックします。(またはF5キーを押します)
 振動計のレンジを変更します。
 変更した振動計のレンジに合わせて、レンジ設定部を設定しなおします。

図 10

レンジ設定
 CH1 64
 CH2 74

レンジ設定
 CH1 50
 CH2 70
 54
 60
 64
 70
 74
 80
 84
 90

数値右側の をクリックすると下記のように選択できるレンジが表示されますので、振動計のレンジに合わせて設定してください。

図 11

F3:スタート のボタンをクリックします。(またはF3キーを押します)
 (測定画面中央に待機中または測定中表示されれば完了です。図 5参照)

振動計の読み値と図 8のソフト上のレベルが同じになっていることを確認してください。

騒音・振動レベル長期モニタリングシステム Ver.2.02 2001.6
 測定中 313 / 600

現在の測定条件
 D:\WLPTestData
 使用CH数 : 2
 波形サンプル間隔(ms) : 200
 測定時間(分) : 10
 測定間隔(分) : 10
 レサンプル間隔(sec) : 1
 レサンプル数 : 600
 波形セーブ : あり

レンジ設定
 CH1 64
 CH2 74

アラーム設定
 基準レベル(dB) 85
 判定時間長(秒) 0.2
 アラーム動作時間(秒) 10
 アラーム対象CH
 CH1
 CH2
 CH3
 CH4
 アラーム停止

時刻 CH Leq L5 L10 L50 L90 L95 Lmax
 10:15:14 測定中 ADC_Unit: 6.6V

図 12